安心して暮らせるまちづくりを
10人の議員が一般質問

質問は6月10日、13日、14日の3日間で行われました。
（質問の順序は抽選で決められ、その順に各議員から提出された要約原稿のとおり掲載しています。）

子育て支援事業の拡充　補助金制度で
制度創設の考え、今は無い

山下　勝一　議員（自民緑政会）

❶危機管理について㋐危機管理監の所掌事務、事務状況、関係部局との連携について問う。

総務部長　市民生活に重大な影響を及ぼす災害や事故などに迅速な対応をすること。現在本市の危機管理体制のあり方を検討し、関係機関、部局との連携で危機管理マニュアル策定に取り組む。㋑自治体業務に従事する職員として、あらゆる場面で危機管理意識が求められる。事務の円滑な推進と資質向上に寄与する職員の危機管理意識の養成についての考えは。

市長公室長　職員の自覚ある対応が、市の事務事業を推進するにあたりリスク管理や危機管理は重要であると考えている。職場研修や派遣研修などを工夫、活用しながら職員の意識高揚や、対応能力の向上を図っていく。

❷震災発生時に道路や鉄軌道を跨ぐ水路橋の崩壊が心配される。耐震対策等についての考えは。

建設部長　水路橋の地震対策等は重要であることから震災時や水害時の対策を河川管理者である京都府に要望していく

❸子育て支援策の一つとしてこれまで提唱してきたファミリーサポートセンター事業が、昨年12月にNPO法人に委託され開設されたことは評価する。会員数や活動件数も順調に推移していると見受けられるが、子育て環境に優しいまちをアピールするため更なる会員増加に向けた取り組みとして同事業に補助金制度を創設してはどうか。

福祉部長　本事業は市民相互の援助という趣旨を踏まえ、まず会員数の増、特に援助会員数の増加を図るためPR活動の充実強化を図って行きたいと考えている。

助役　当分は受託先のNPO法人とも連携を保ちながら取り組みを進めて行く考えであり、今のところ助成制度の創設は考えていない。

ファミリーサポートセンターの啓発ポスター

財政計画を明確に
10年間で60億円財源不足

橘　雄介　議員（21市民の眼）

❶財政計画を明確にし、行財政改革と事務事業総点検を積極的に行い、職員減員と給与、手当の見直し、指定管理者、市民協働事業、行政パートナー採用等を実施せよ。

総務部長　財政見通しは、年間25億円の建設費として10年間で約80億円、基金で充填しても60億円の財源が不足する。

市長公室長　行政改革プロジェクトチームで検討。職員定員や給与等も行革推進委員会に諮問。

❷学校給食と市内の農と食の再生に具体策を。

農業の実態を把握し、農地保全と地産地消策、給食での食育と有機食材の提供等、行政、JA、農業者、市民と懇談会を。

経済環境部長　農家と生産減少を懸念。地産地消は朝市等支援。食育懇談会設置は考えていない。

教育部長　食育は大切な課題。有機食材は困難。

❸市民参画のコミュニティケアが重要な時代。

元気な中高年層が地域で貢献できる様、地域福祉計画で住民の自主的な地域活動の支援を。小学校区毎の地域予算化と公益活動推進支援を。

総務部長　市民の公益活動法人は非課税。

福祉部長　地域福祉推進は市民参画と地域全体での仕組みが大切。行政の連携と支援策を検討。

❹同志社との包括協定後の体制と折衝と取組みで具体的な積極策を。各課提案の協働企画や新たな企画、テーマ、予算、人的連携と問題点は。

総務部長　連携推進協議会で整理し協議中。10、11月に市民、学生交流記念イベントを開催予定。

❺小中学校の学習活動支援策は。教材や総合的学習、部活動等の備品や経費予算は。住民の学校サポーターシステムを。

教育部長　教材、備品は消耗費、備品費で。講師経費や部活動の備品購入費、対外活動費も補助。学校サポートは地域毎に。

金管バンドは学校外活動のため予算化出来ない。

生涯学習センターに建て替えの計画がある中央公民館

片町線の安全対策申入を
市長がJRに行う

青木　綱次郎　議員（共産党）

❶第三次行政改革は市民サービス向上のために行われるべき。㋐基本方針について市長の考えは。㋑第二次行革のまとめは。㋒市民参画と情報公開ですすめるべき。㋓総務省「新地方行革指針」は地方自治の原則を踏みにじるもの。市の見解は。

市長　市民の立場を踏まえ効率的で質の高いサービスの提供が求められている。総合計画実現に向け、新たな行政運営の仕組みづくりと財政の健全化を重要課題とする。

助役　第二次行革は六つの目標で進めてきたが、時期的、具体的なことなど大きく踏み込むものとならなかった。また経費削減はあったが財源確保の視点がなかった。市民参画は考えていない。推進委員会の議事録は公開する。「新地方行革指針」は国の考えとして参考にするが、市にあった行革をすすめるのであり、こだわる必要はない。

❷JR西日本に対し、学研都市線全線に最新型ATS設置、脱線防止ガードの整備促進、同志社前駅ホームの延長等、安全対策の抜本的強化を市として申し入れるべき。

市長公室長　市長が片町線複線化促進期成同盟会会長としてJR西日本に安全対策を申し入れる。同志社前駅のホーム延長を含む全面的な改修整備は引き続き要望する。

❸松井ケ丘幼稚園の、送迎時の車のUターンスペースの確保と、駐車場設置を求める

教育部長　幼稚園正門より東側の通用門を開けてUターンできるよう整備する。また安全対策として道路に横断歩道など白線を引く。駐車場については検討していく。

❹山手東、松井ケ丘方面から大住ふれあいセンターに抜ける遊歩道などの整備を。

福祉部長　新たな道路整備は考えていない。バスによって利用者の利便を図っていきたい。

JR松井山手駅に停車中の電車

議会日誌

【5月】
9日　幹事会、総務常任委員協議会
13日　議会運営委員会
17日　第1回臨時会〈役員改選〉
18日　第1回臨時会〈役員改選、議案上程〉
19日　山形県天童市議会視察来庁
23日　京都府市議会議長会
25日　全国市議会議長会
30日　議会運営委員会

【6月】
2日　議会運営委員会、幹事会
6日　第2回定例会〈議案上程〉
10日　第2回定例会〈一般質問〉
13日　第2回定例会〈一般質問〉、幹事会
14日　第2回定例会〈一般質問〉
15日　建設経済常任委員会・協議会
16日　文教福祉常任委員会・協議会
17日　総務常任委員会・協議会
20日　第3次総合計画特別委員会、幹事会
22日　第3次総合計画特別委員会
24日　第3次総合計画特別委員会、幹事会、議会運営委員会
28日　議会運営委員会
29日　総務常任委員協議会、幹事会
30日　第2回定例会〈議案採決〉

【7月】
6日　広報編集特別委員会（13、25日）
19日　文教福祉常任委員会
（以上主なもの）